

デジタル教科書指導案／地理的分野

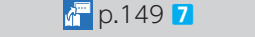
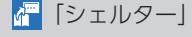
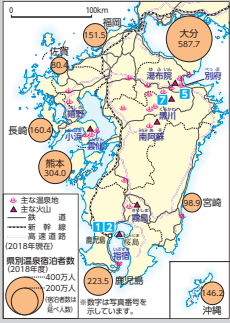
1. 題材 p.176-177 火山と共にある九州の人々の生活
2. 目標 (1) 火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えについて理解できる。
(2) 火山がもたらす産業や、人々の生活との関わりについて考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・九州地方の火山と温泉の分布の特色を地図から読み取ることができる。 ・火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えの工夫について理解している。
思考・判断・表現	・火山が人々の生活や産業にもたらす影響について考察し、表現している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「噴煙を上げる桜島と鹿児島市の市街地」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。	 p.176 1	○ 「噴煙を上げる桜島と鹿児島市の市街地」の写真を題材にし、桜島の位置を地図で確認させながら、本時への導入を図る。
	2. 噴火が人々の生活に与える影響を予想し、学習課題への見通しを持つ。	桜島の位置を地図帳で確認し、鹿児島市の市街地との距離を調べてみよう。 桜島が噴火すると、周りの地域で暮らす人々にどのような影響があるのだろうか。	○ 降灰だけでなく、市民生活への具体的な影響も予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。			
展開	3. 火山と共に生きる鹿児島市の人々の生活の工夫を理解する。	 p.176 2  p.176 3  「火山灰の回収袋」 資料から、火山と共に生きる鹿児島市の人々の生活の工夫を見つけよう。	○ 学習プリントを活用し、噴火に伴う生活への影響と、対策や工夫をまとめさせる。 ○ 人口60万ほどの大都市に暮らす人々がどのように対策・工夫しながら生活しているのか理解させる。 ◆ 天気予報で桜島上空の風向きを紹介するコーナーがあったり、火山灰専用の回収袋が用意されていたりすることを理解させる。

展 開	4. 火山の噴火に伴う災害への備えについてつかむ。 5. 火山による恵みについて話し合う。 6. 温泉や地熱発電所の分布と、火山との位置関係を確認する。	    火山灰以外に、噴火に伴う災害にはどのようなものがあるのだろうか。また、桜島ではどのような対策が取られているのだろうか。   火山は、人々にどのような恵みをもたらしているのだろうか。  温泉が多い場所と地熱発電所の位置をそれぞれ図に示してみよう。 火山の分布との関わりを考えてみよう。	○ 資料から、噴火に伴う災害の例を読み取らせる。 ◆ 噴石の飛来や火砕流の発生などがあることに気付かせ、シェルターの設置や避難訓練の実施など、さまざまな対策が取られていることを理解させる。 ○ 火山の恵みについて考えさせる。 ◆ 有名な温泉地が多いことや大規模な地熱発電所があることを理解させる。 ○ 九州地方の温泉と地熱発電所の分布を、地図で確認させる。 ◆ 火山の分布と温泉・地熱発電所の位置との関わりに気付かせる。
整 理	7. 本時のまとめをする。 8. 学習課題への振り返りの活動を行う。	火山が人々の生活や産業に与えている影響について説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 火山が人々の生活や産業に与えている影響について、災害と観光、エネルギーに着目して説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。